

2017 連合リビングウェイジ

～労働者が最低限の生活を営むのに必要な賃金水準の試算～



詳細版



2017年12月

日本労働組合総連合会



も く じ



I. 実施概要.....	1
◇「連合リビングウェイジ 2017 プロジェクト・チーム」の構成.....	3
II. 連合リビングウェイジ（さいたま市）総括表.....	4
III. 品目別試算の考え方	
1. 食料費.....	5
2. 住居費.....	7
3. 光熱・水道費.....	9
4. 家具・家事用品.....	10
5. 被服・履き物費.....	10
6. 保健・医療費.....	10
7. 交通・通信費.....	11
8. 教育費.....	12
9. 教養・娯楽費.....	12
10. その他.....	13
11. 保険料.....	14
12. 税・社会保険料.....	14
IV. 品目詳細一覧	16
V. 自動車関係費の試算	38
VI. 都道府県別リビングウェイジ	40

I. 実施概要

1. 「連合リビングウェイジ」とは

連合リビングウェイジは、労働者が最低限の生活を営むのに必要な賃金水準を連合が独自に試算しているものである。春季生活闘争において構成組織・地方連合会が最低到達水準を決定する際の参考指標として、地域別最低賃金審議会における金額審議の際の労働者側の主張の根拠として、あるいは企業内最低賃金を年齢別に定める際の参考資料として、広く活用されている。

最初に設定したのは 2003 年 8 月で、同年 4 月に埼玉県さいたま市において実施した調査にもとづき、「賃金ミニマム指標プロジェクト報告」として公表した。以降 5 年ごとにさいたま市で調査を実施し、(2008 年 6 月および 2013 年 6 月)、改定データを公表してきた。なお、2006 年には宮崎県延岡市での調査にもとづく地方都市労働者のリビングウェイジも公表している。

税・社会保険料の引き上げなど、昨今の様々な情勢の変化を鑑み、1 年前倒しして 2017 年 6 月に調査を実施し、物価変動や生活スタイルの変化にも着目しつつ、「2017 連合リビングウェイジ」を設定した。

2. 基本的な枠組み

(1) 試算にあたっての考え方

- 労働者として健康に働き続けるための基本となる「衣・食・住」と「保健・医療」に関わる費用、暮らしていく上で必要な一定の社会的・経済的つながりに必要となる「交通・通信費」「交際費」、健康で文化的な最低限度の生活のために必要な「教育費」「教養・娯楽費」を、費目ごとに計算した。
- 各費目については、大多数の労働者が利用・購入できるもので構成する。大多数とは概ね 7 割以上の家庭が保有しているかどうかを判断基準の一つとする。
- 生活保護や特別な支援措置は受けないものとする。

(2) 世帯構成と生活設定

- 単身世帯 : 成人男性 (賃貸 1 K)
- 2 人世帯 : 父 + 男子小学生 (賃貸 1 DK)
- 2 人世帯 : 夫婦 (賃貸 1 DK)
- 3 人世帯 : 父 + 女子中学生 + 男子小学生 (賃貸 2 DK)
- 3 人世帯 : 夫婦 + 男子小学生 (賃貸 2 DK)
- 4 人世帯 : 夫婦 + 男子小学生 + 男子小学生 (賃貸 3 DK)
- 4 人世帯 : 夫婦 + 男子高校生 + 女子中学生 (賃貸 3 DK)

* 2 人世帯以上の夫婦は「夫が 1 人で働き、妻は専業主婦」を前提として設定。

(3) 価格調査などの地域、時期および時点と方法など

■ 地域は、埼玉県さいたま市をモデル地域に設定した。さいたま市は、首都である東京から最も近い県庁所在都市であり、J R各線や私鉄線が結節する鉄道交通の要衝で、都心との交通も利便性が高い。バス路線を含めた公共交通機関を利用すれば通勤・通学などに不便がなく、通勤時間などが心身への過度な負担にならず、また生活時間を確保することが可能な地域であると考えられるとして設定した。

各駅を中心に住宅地が広がり、家賃相場は東京都内に比べ低い。また、食料品・日用消耗品などは近くのスーパーや最寄り駅の周辺で購入する事が可能であり、日常生活における利便性も高い。

また、2003 年、2008、2013 年調査時と同じさいたま市で実施することにより定点的な比較が可能である。品目の価格調査を行う際に協力体制が整っている地域であるなど、相対的にみて「さいたま市」がモデル地域に適していると判断し、再度さいたま市の調査にもとづいて試算することとした。

■ 価格は、2017 年 6 月時点におけるイオン北浦和店、ヤマダ電機大宮宮前店、島忠大宮本店、インターネット通信販売の販売価格を参考に、世帯構成別のマーケット・バスケット方式(※)により設定した。

■ 公共料金の基本料金・従量料金は 2017 年 6 月時点のさいたま市内での料金で、使用量は年平均で試算した。

■ 税・社会保険料は、2017 年 6 月時点で試算した。

3. 連合リビングウェイジの見直し作業の経過

見直し作業の検討を労働条件担当者会議（第 4 回／2016. 9. 21）に諮った後、「連合リビングウェイジ見直しプロジェクト・チーム」（P3 参照）を設置した。「プロジェクト・チーム」は、2016 年 12 月～2017 年 11 月の間に合計 8 回の会合を行い、「2017 連合リビングウェイジ」を設定した。

なお、中間報告として第 21 回中央執行委員会（2017. 9. 27）で「2017 連合リビングウェイジ 総括表（さいたま市）」（P4 参照）および「2017 都道府県別リビングウェイジ」（P40 参照）を報告した。



(※) マーケット・バスケット方式は、イギリスの S. ラウンツリーがヨーク市貧困調査に用いた理論生計費方式。マーケットに出かけて行って、バスケット（買い物かご）に必要な品物を入れていく方法に似ていることからこう呼ばれている。誰もが「最低限度の生活」を送るのに絶対必要な品物・サービスなど、必需品の個数、枚数など一つ一つ積み上げて計算。